

I-12. 研究人材キャリア情報活用支援事業推進のための調査

Survey for research personnel carrier information use support project

キーワード Key Word	ポストドクター、キャリア支援、ウェブサービス Postdoctoral fellows, Career Development Support, Web service
--------------------------	---

1. 調査の目的

科学技術振興機構(JST)では、科学技術イノベーション創出を担う博士課程の学生、博士研究員、研究者及び技術者等の高度人材の活躍の場の拡大を促進するため、産学官連携の下、キャリア開発に資する情報の提供と活用に支援を行う「研究人材キャリア情報活用支援事業」を平成 24 年度から開始している。これまで、JST ではウェブを活用した高度人材支援の課題と対応策について検討を進め、拡充内容として新ウェブサービスの構築運営などを予定している。新ウェブサービスは、高度人材に高い認知度のある JREC-IN を基に、各セクターで蓄積されたノウハウや成果等を一元的に提供することを目指している。そこで、新ウェブサービスに関する調査や新ウェブサービス運営に必要な機関連携体制の構築に係る調査を行い、実施にあたっての具体的な提案等を行う。

2. 調査研究成果概要

(1) 調査の構造

本調査研究は大きく2つの調査とそれらの結果からの提案より構成される。

1) 新ウェブサービスに関する調査

新ウェブサービスの構築運営において必要となる情報収集や、関係者へのヒアリングなど各種調査を行い、新ウェブサービスの構築に資する具体的提案を行った。

2) 新ウェブサービス運営に必要な機関連携体制の構築に係る調査

新ウェブサービスにおいては、研究人材育成に取り組む各セクター(大学・大学院のキャリアセンター、民間の人材育成業者、省庁・自治体、企業、海外機関など)で培われたノウハウや教材などの成果を吸い上げ、一元的に提供するため、各セクターに属する機関同士および機構とそれら機関との連携組織構築を予定している。 関連機関との連携体制構築において必要なノウハウやルールについての調査を行い、機構が連携体制を円滑に構築運営するための具体的な提案を行った。

(2) 調査の内容と主な成果

1) 新ウェブサービスに関する調査

ポータルサイト機能に関して、高度人材のキャリア啓発・形成に役立つ情報や高度人材のキャリア啓発・形成に役立つツール等について、を国内外の機関あるいはサイトから効率的に収集し、管理・提供した。また、求人求職サイト機能に関して、高度人材向け求人情報の集約を促進するため、求人者による求人情報の掲載を容易にし、他の求人サイトとの連携(求人情報の共有等)を容易にする仕組みや、高度人材向け求人情報等を国内外の機関あるいはサイトから効率的に収集し、管理・提供した。

2) 新ウェブサービス運営に必要な機関連携体制の構築に係る調査

<機関連携体制の構築・運営に向けた提言の一部>

■ 連携組織のあり方、形式等(コンソーシアムについて)

最終的には組織(コンソーシアム)をつくるべきだと考える。委員会形式では、継続性が担保できず、加えて動きが遅いという短所がある。ただし、現段階では、すぐに(自然発生的に)コンソーシアムが形成されるとは考えにくい。まずは研究人材ポータルサイトにて掲載する自己分析や学習等のコンテンツについて協議検討する有識者委員会を JST 内に設置し、運営していきながら、コンソーシアムをつ

くる可能性の高い人物や機関と意思疎通をはかっていくべきと考える。コンソーシアムはNPOのような組織を想定しているが、会を動かせる程度の収入(専従者1名とアルバイト:年間500~1000万円)を得る必要がある。コンソーシアムはJSTの外部組織が良い。設立する有志とJSTが組むようなイメージである。既に国内でもボランティアな団体はあり、それらをうまく活かしていくことが重要である。JSTは「プラットフォーム機能」を果たすのが良いだろう。JSTが主導するかたちでコンソーシアムを立ち上げる場合は、任意団体として志ある機関を募り、出来るところから始めていくのが良いだろう。

■JSTが取るべき短期的アクションプラン

①キーパーソンのリストの収集・整理

若手博士等のキャリア開発支援の取組に従事してきた関係者を中心にリストアップする。

②キーパーソン等への意見召集(Request for Comment)

上記のリストアップしたキーパーソンに加え、日本機械学会や応用物理学会、そして自動車工業会、日本化学工業協会、COCON(産業競争力懇談会)、経団連などの学協会や業界団体に対して、JSTで可能な支援メニューや予算額を提示し、JSTで実施すべき活動内容について意見を求める。

③キーパーソンを集めてのワークショップの開催

②で取り集めた意見を整理・分析し、取り組むべきテーマや 이슈を3~5に絞り、それぞれについて有識者によるワークショップを開催して、今後の具体的なアクションプランについて協議する。

④プロジェクトの試行的実験の企画・立案・実施

③で協議されたアクションプランの中から、JSTとして短期的に実践可能なF/S調査を含む試行的実験について企画・立案・実施する。

⑤プロジェクトの試行的実験の評価と次年度以降の計画立案(プログラム化)

④の実施をモニタリングし、試行的実験の評価と次年度以降の計画立案(プログラム化)を行う。

サイト名	①ポータルサイト機能				②求人求職サイト機能		③eラーニングサービス機能
	イベント	奨学金・助成金	ニュース	ツール	求人情報	求職者情報	
naturejobs.com	△ 主催情報のみ	△ 少数	○	△ 記事のみ	◎	×	×
Science Careers	×	×	○	△ 記事のみ	◎	○	×
RESEARCH & INNOVATION Marie Curie Actions	○	○	○	×	○	×	×
HigherEdJobs	×	×	○	○	◎	○	×
AcademicKeys	△ 少数	×	○	○	◎	○	×
Academia.edu (SNS)	×	×	△ 投稿	×	△ 少数	△ 登録者	×
日本学生支援機構							
博士情報エンジン	○	×	×	×	○	○	×
Dr.キャリアスタ	×	×	×	×	○	○	×
アカリクWEB	×	×	×	△ 記事のみ	○	×	×
アカリクAGENT	×	×	×	×	△ 少数	×	×
Vitae	◎	×	◎	◎	×	×	×
My IDP	×	×	×	◎	×	×	×
JREC-IN	×	×	×	×	◎	◎	×
Science Portal	◎	◎	◎	×	△ JREC-IN	×	×
WEBラーニングブラザ	×	×	×	×	×	×	◎

図:高度人材向け新ウェブサービスの各機能と類似する機能を持つウェブサイトの比較表